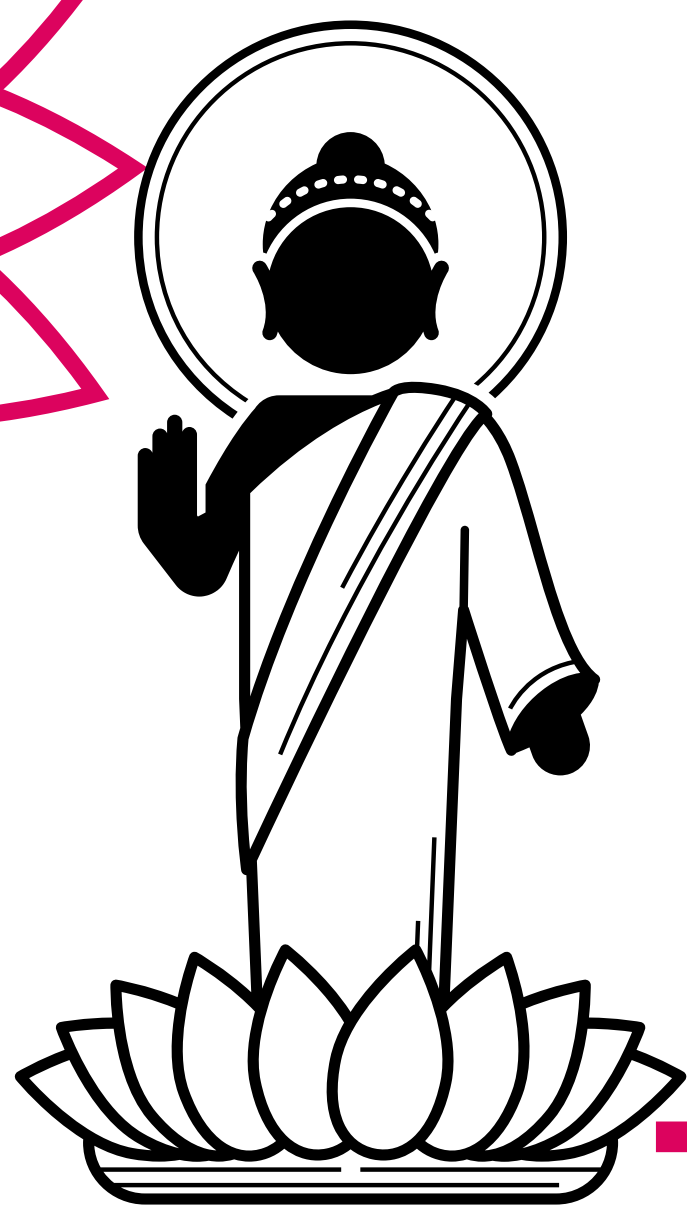
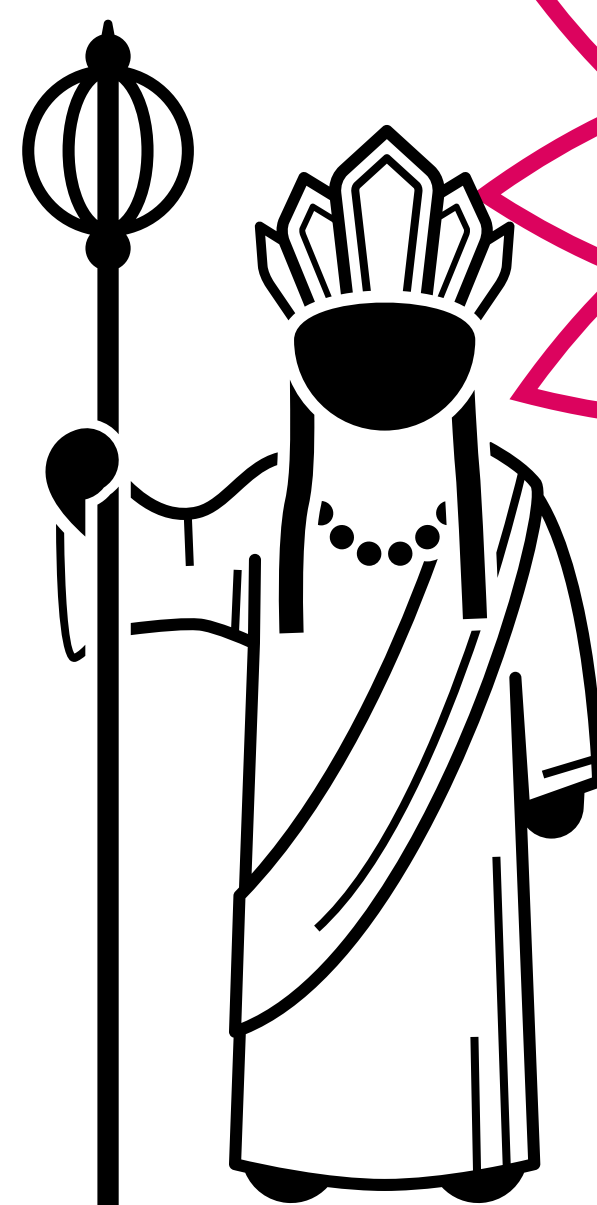
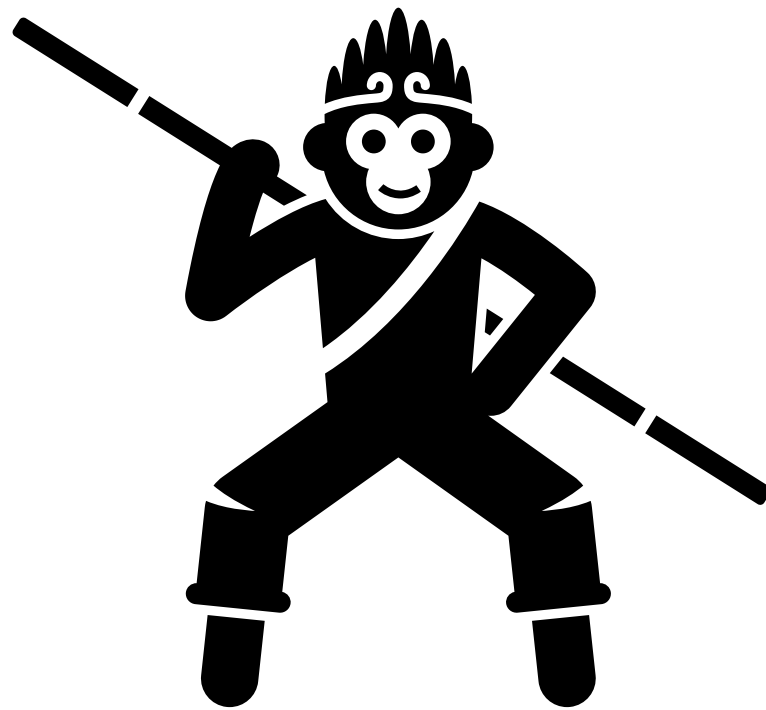


釈迦如来

三蔵法師



孫悟空



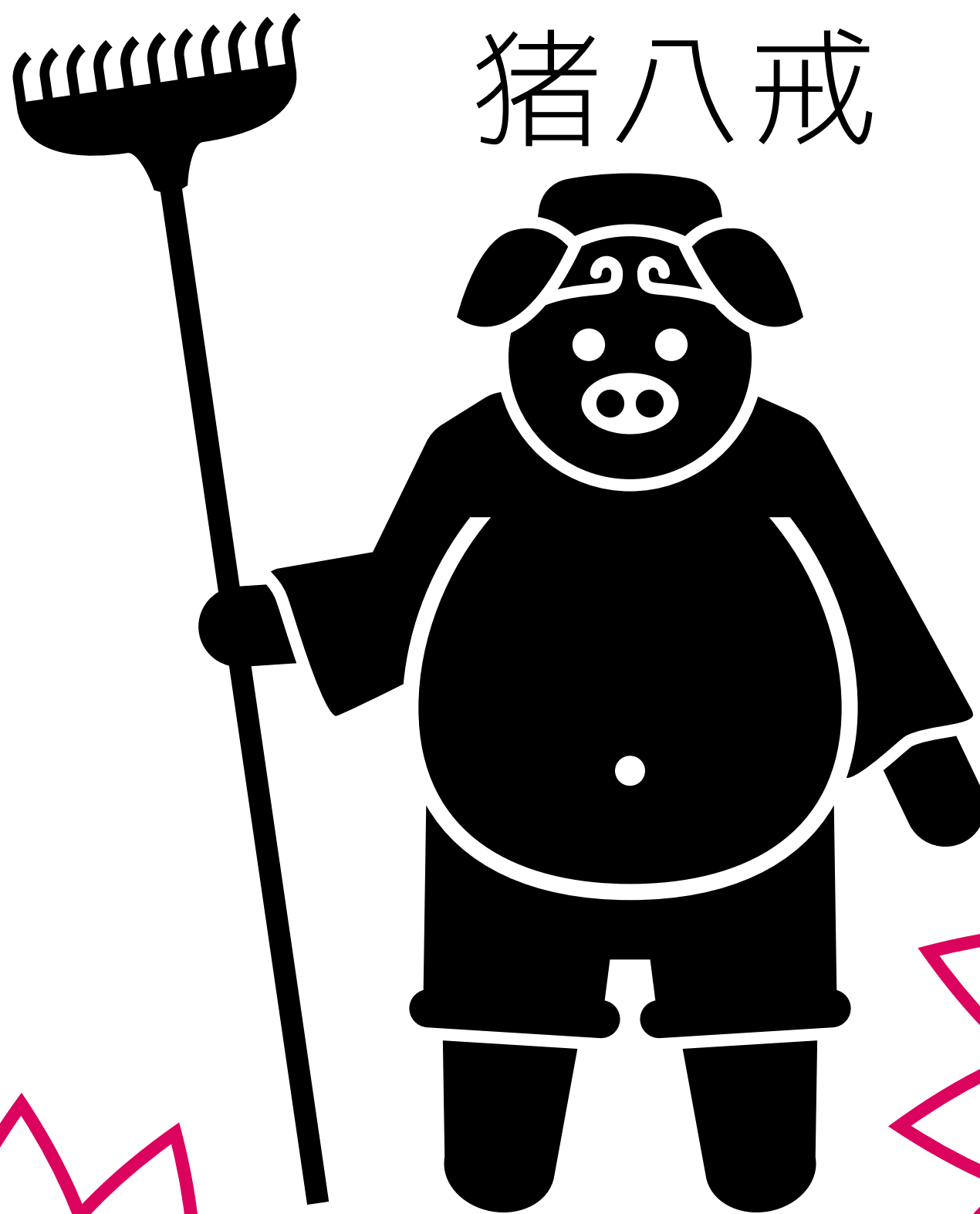
世界で最も 有名なお猿さん？ 『西遊記』

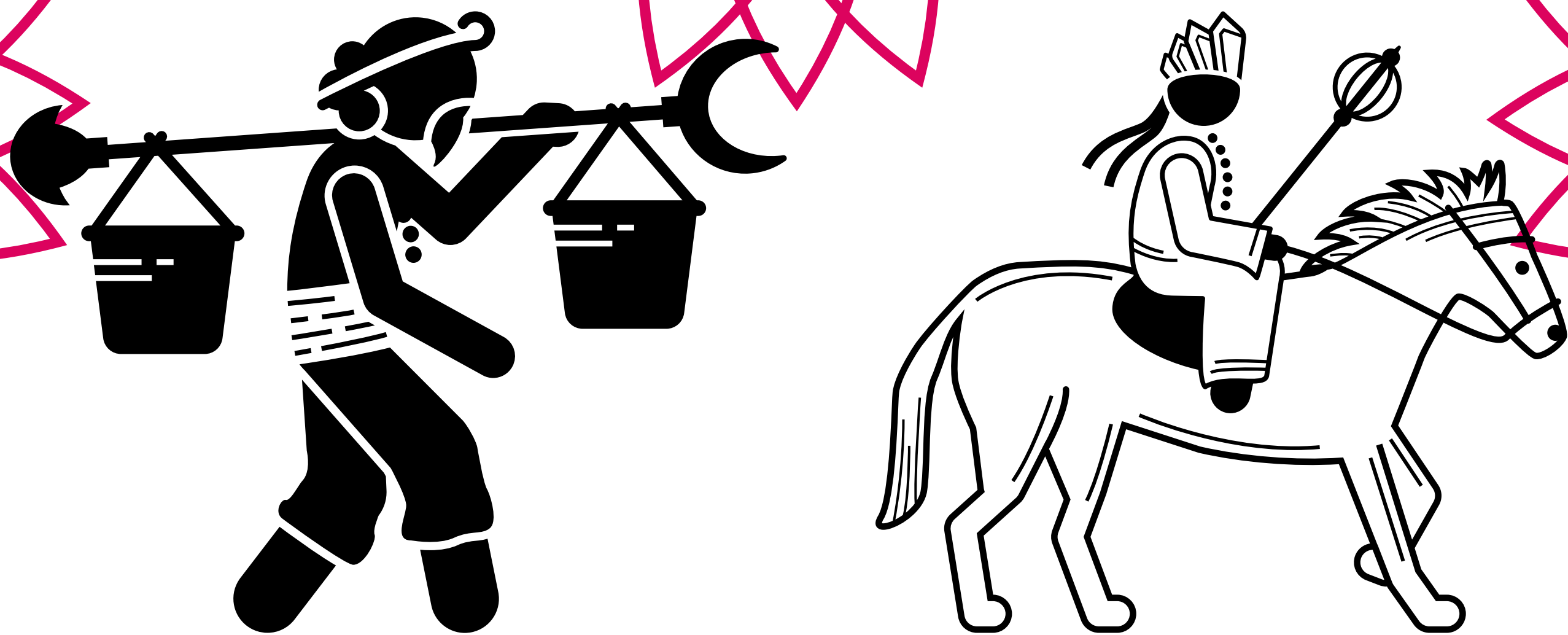
『西遊記』は、明の時代に呉承恩によって書かれた、
中国の最も有名なファンタジー小説です。
今でも漢字圏の読者、ポップカルチャーに深い影響を与えています。

沙悟浄



猪八戒





三蔵法師と孫悟空、猪八戒、沙悟浄の4人が、幾つもの困難を乗り越え、最後には天竺（現代のインド）で取経（お経を得ること）を果たすというこの冒険物語は、中国で仏教の発展と共に広く知られるようになり、さらにその面白さから世界的な名作になりました。日本でも、たくさんの『西遊記』をベースにしたテレビドラマや漫画、アニメが作られています。

孫悟空：頭の良いお猿さんで、色んな技術を身に付けています。天界で暴れた罰として、釈迦如来に三蔵法師の旅のお手伝いを命じられました。

猪八戒：元々は天界の将軍「天蓬元帥」でしたが、嫦娥（月に住む仙女）を嫌がらせたため、天界から追放されました。誤って豚の姿になり、三蔵法師の旅を手伝う事になりました。

沙悟浄：元々天界の「捲簾大将」でしたが、天帝の器を割ったため、天界から追放されています。人間界で川に住む妖怪となり、日本では「河童」の姿に解釈されています。同じく、三蔵法師の旅を手伝うことになりました。

三蔵法師：『西遊記』の中で唯一実在する歴史上の人物です。唐の時代に16年をかけて中国からインドに行き、仏典の原典を中国に持ち帰りました。三蔵は、その後の余生をすべて仏典の翻訳に投じました。

